

第80回 日本公衆衛生学会総会プログラム

日本学術会議—日本公衆衛生学会 合同市民公開シンポジウム

プラスチックの ガバナンス

感染症制御のための 衛生環境管理と資源循環

2021.12.23(木) 14:50-16:20

東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

(東京都文京区本郷7-3-1)

プログラム

開会の挨拶

那須民江 日本学術会議連携会員/名古屋大学名誉教授/中部大学客員教授

座長

中村桂子 日本学術会議連携会員/東京医科歯科大学大学院国際保健医療事業開発学教授

大塚直 日本学術会議第一部会員/早稲田大学法学部教授

講演

1 「新興感染症パンデミック時の保健医療と環境衛生管理のかかわりと今後の課題」

浅見真理 日本学術会議第三部会員/環境学委員会委員長/
国立保健医療科学院 生活環境研究部 上席主任研究官

2 「感染症パンデミック制御とプラスチック資源循環のガバナンス」

石川雅紀 叡啓大学特任教授/神戸大学名誉教授

3 「廃棄物処理におけるプラスチックごみの取り扱いについて」

山田正人 国立環境研究所 資源循環領域 廃棄物処理処分技術研究室室長

4 「海洋プラスチック・マイクロプラスチックの減量化に対する環境省の取り組みについて」

中島慶次 環境省 水・大気環境局 水環境課 海洋プラスチック汚染対策室室長

5 「大気中マイクロプラスチックの実態解明と健康影響」

大河内博 早稲田大学理工学術院創造理工学部教授

閉会の挨拶

石塚真由美 日本学術会議第二部会員/北海道大学大学院獣医学研究院教授

主催 日本学術会議 環境学委員会・健康・生活科学委員会合同 環境リスク分科会
同 健康・生活科学委員会・基礎医学委員会合同 パブリックヘルス科学分科会

入場無料

どなたでも
参加いただけます

日本学術会議環境リスク分科会は2020年4月7日に、提言「マイクロプラスチックによる水環境汚染の生態・健康影響研究の必要性とプラスチックのガバナンス」を提出しました。

提言提出は新型コロナウイルス感染症のパンデミックに伴う最初の緊急事態宣言が出た時期と重なりました。感染症パンデミックの制御とプラスチックのガバナンスについて、衛生環境管理と資源循環の観点から多角的に討論します。

お問い合わせ

中村桂子 (東京医科歯科大学)
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
TEL: 03-5803-4032
E-mail: whocc.ith@tmd.ac.jp

日本学術会議ホームページ
www.scj.go.jp

共催 日本公衆衛生学会
後援 日本生命科学アカデミー

